聖隷クリストファー大学看護学部紀要　投稿規定

Ⅰ．名称

本誌は聖隷クリストファー大学看護学部紀要（Bulletin of Seirei Christopher University School of Nursing）とする。

Ⅱ．発行

本誌は、原則として年 1 回（3 月）発行する。

Ⅲ．投稿者の資格

筆頭著者は聖隷クリストファー大学に所属する専任教員であることを原則とする。ただし、依頼原稿についてはこの限りでない。

共著者に本学以外の者が含まれることは可とする。

Ⅳ．投稿原稿の要件および種目

原稿の内容は看護学部、助産学専攻科における教育、あるいはこれに関わる研究（医学を含む）の進歩に寄与するものであり、他の出版物（国内外を問わず）に、未だ発表あるいは投稿されていないものに限る。

投稿原稿の種目は､「総説」「原著」「報告」「短報」「その他」とする。種目は下記の内容から、自己判断して適切なものを選択する。なお、紀要委員会の審議の結果、希望する種目では不採用、または別の種目を勧告する場合がある。

総説　Review Article：ある主題についての研究論文、調査論文を総括し、解説したもの。

原著　Original Article：理論的または実証的な研究方法を用いて得た新しい知見を内容とし、緒言、方法、結果、考察、結論について明確にまとめたもの。

報告　Report: 研究、調査、教育活動、委員会活動に関わる成果で、資料的価値があるもの。

短報　Short Communication：原著に準ずるが、教育あるいは研究の論文として迅速に公表する意義のあるもの。

その他　Miscellaneous：総説、原著、報告、短報に該当しないもの。ただし紀要委員会が適当と認めたものに限る。

Ⅴ．倫理的配慮および利益相反

特定の個人の情報を研究・調査、実践報告等に用いる場合は、倫理的に配慮され、学会・研究機関・大学の倫理委員会、またはこれに準じるものの承認を得た旨を本文中に明記（審査機関、承認番号）する。

利益相反の開示について、投稿論文は、その内容に影響を及ぼしうる資金提供、雇用関係、その他個人的な関係が明示されていなければならない。

Presented by Medical*Online

Ⅵ. 投稿の方法

1. 投稿原稿は「原稿点検票」に拠り点検したものを作成する。 併せて原稿の点検状況を「原稿点検票」に記入する。
2. 投稿原稿は紙媒体で 3 部を提出する。うち 2 部は査読委員用として、著者が特定される氏名、所属、謝辞などの記載箇所を空欄にする。
3. 「原稿点検票」と「論文投稿同意書」は原稿とともに紀要委員会に提出する。
4. 「投稿原稿」、「原稿点検票」、「論文投稿同意書」の電子データは、紀要委員会専用メールに提出する。
5. 期限を過ぎて提出された原稿は受付しない。

Ⅶ. 原稿の様式

1. 使用言語は、日本語または英語に限る。
2. 原稿はパソコン（Word）で作成し、A4 判横書きとする。

   日本語原稿の場合：

   1）原稿の 1 枚目は 40 字× 36 行、2 枚目以降（本文）は 20 文字× 40 行の書式とする。また、2 枚目以降（本文）は 2 段組みとする。

   2）用紙の上下、左右にそれぞれ 25 ｍｍのマージン（余白）を設ける。

   3）本文のフォントは、日本語は MS 明朝体、英数字は Times New Roman の 10.5 ポイントを使用する。

   4）段落冒頭の 1 行目は全角 1 字分のインデントを設ける（1 文字分下げて記す）。

   5）原稿には頁番号を中央下に記す。

   英語原稿の場合：

   本文のフォントは Times New Roman の 12 ポイントを用いて、ダブルスペースを基本とする。これ以外は日本語原稿に準ずる。
3. 投稿する原稿 1 編の分量は、本文、図表、文献などを含めて 10 頁以内、短報の場合は 5 頁以内を基本とする。ただし、依頼原稿についてはこの限りでない。
4. 原稿の 1 枚目には、表題、著者名、著者の所属、抄録、キーワードを、それぞれ行を改めて順番に記載する。ただし、原稿の紙媒体 2 部（査読委員用）には著者名、著者の所属を記さない。

   1）日本語原稿では、表題、著者名、著者の所属を日本語で表記し、これに続けてその下に英語で記す。

   2）英語原稿では、同様の項目を英語で表記し、これに続けてその下に日本語で記す。英語表記における大文字の使用は、英文法に準ずる。

   3）日本語原稿の場合は、抄録を 400 字以内で記す。また、英語原稿の場合は、Abstract を 300 語以内で記す。

   4）英文タイトルおよび抄録については、ネイティブもしくは英語の専門家で、看護学についても理解している者のチェックを受けていること。

   5）キーワード（Key words）を 5 つ以内で記す。
5. 本文は原稿の 2 枚目から記す。

   1）文章は分かりやすく記述する。文体は「である調」を基本とする。

Presented by Medical*Online

2）外来語はカタカナで、外国人名、日本語が定着していない学術用語などは活字体の原綴りで記す。

3）原稿中で繰り返される用語は略語を用いることができる。ただし初出の際には省略しない。また、製品名を記載する場合には、正式名を使用し、初出の際に会社名と所在地を記載する。

4）文および図表で用いる数字および英字は半角とする。また量記号（サンプル数のｎや確率のｐなどの数値すなわち量を表す記号）は欧文書体のイタリック体（斜体）とする。

本文中の記号（括弧など）は、日本語原稿の場合は全角、英語原稿の場合は半角を用いる。

5）論文の構成をわかりやすく提示するために、見出しを効果的につけることが望ましい。例えば、原著であれば緒言、方法、倫理的配慮、結果、考察、結論（Introduction, Methods, Ethical considerations）などのように区分する。

見出しをつける場合、英数字･記号は半角、括弧は全角を使用し、次のように表記する。

Ⅰ．Ⅱ．Ⅲ．　……

1．2．3．……

1）2）3）　……

（1）（2）（3）……

6．図は Word・Excel・Power Point のいずれかで作成する。

1）図表は、本文とは別に一括し、本文中にそれぞれの挿入希望位置を朱書きする。

2）図表は A4 判用紙に 1 枚ずつ配置する。図は最下段左側に「図 1」「Fig.1」のように通し番号を付け、続けて表題を記す。表は最上段左側に「表 1」「Table 1」のように通し番号を付け、続けて表題を記す。

3）写真は図と区別せず、図に含めて図番号をつける。

4）表中の数字が理論的に必ず 1 以下の場合（たとえば相関係数）は、0 を付けずに「.23」のように小数点以下のみで記す。

7．必要に応じ、「注」を本文末尾に記載できる。

8．誌面の様式を統一するため、原稿の様式は変更されることがある。

9．文献は下記のとおりに表記する。

A．文中の引用について

1）本文中の引用箇所には、「(著者の姓、文献発行西暦年)」を付けて記す（英語の場合は“　”内)。

例）鈴木（2020）によると、「……は……である」。

2）そのままの引用ではないが、要約して引用した文献は、それについて記述した文章の後にカッコを付し、著者名と発行年を表示する.

例）…＜要約＞…ことが証明されている（鈴木，2020)。

3）2 名の著者による単独の文献の場合は、その文献が本文に出現するたびに常に両方の著者名を表記する（欧文の場合は“&”を用いる)。

例）鈴木と佐藤（2020）によると「……は……である」。

……ことが証明されている（鈴木，佐藤，2020)。

Suzuki & Sato（2020）によると「……は……である」。

……ことが証明されている（Suzuki & Sato，2020)。

Presented by Medical*Online

4）著者が 3 名以上の場合は、本文中の引用では第 1 著者を書き、第 2 著者以降は「ら」と略記する。文章の後のカッコ内には第 1 著者を表記し、第 2 著者以降は「他」と略記する（欧文の場合は“et al.”を用いる）。

例外として、第 1 著者 1 名のみでは論文の区別がつかない場合、区別がつくまで著者名を列記する。

例）鈴木ら（2020）によると、「……は……である」。

……ことが証明されている（鈴木他，2020）。

Suzuki et al.（2020）によると「……は……である」。

……ことが証明されている（Suzuki et al.，2020）。

5）複数文献を引用した場合には、（佐藤 , 田中, 2019; 鈴木, 2020）のように第 1 著者のアルファベット順に表示し、セミコロンで並べる。

6）同一著者による、同じ年に発行された異なる文献を引用した場合は、発行年にアルファベットを付し、これらの文献を区別する。

例）鈴木（2020a）によると……である。また別の報告では、……であることが述べられている（鈴木，2020b）。

7）同一文献の異なるページを引用した場合には、発行年の後ろにページ数を書き添えて、引用箇所を明確にする。

例）鈴木（2020）によると……である（p.5）。また、……であることも述べられている（鈴木，2020，p.25）。

8）翻訳本を引用した場合には、原作出版年 / 翻訳出版年を表示する。

例）Bowman & Duldt（2015/2020）によると……

B．文末の文献リストについて

1）本文の最後に引用した文献の書誌情報は、著者名（姓、名の順）のアルファベット順の一覧表として記載する。

2）共著者名の記載は第 1 著者～第 3 著者まで表記し、4 名以上の場合は第 4 著者以降を「他」、欧人著者であれば“et al.”と略記する。

3）雑誌名は省略しない。ただし、その雑誌が使用している略名がある場合は使用できる。

4）各文献とも第 1 行の頭はインデントを設けず、第 2 行目以降の頭には、全角 1 字分の余白を設ける。

①雑誌の場合

著者名（発行年）．論文表題．雑誌名，巻（号），頁．

例）聖隷花子，三方原太郎（2013）．隣人愛に基づく看護教育の特徴．日本看護

○△雑誌，30(2), 133-145.

②書籍の場合

著者名（発行年）．書名　版数．引用頁，出版社名，発行地．

例）聖隷太郎（2000）．聖隷と看護　第 2 版．pp.31-40，聖隷事業団，東京．

③翻訳書の場合

原著者名（原書発行年）．書名／翻訳者名（翻訳書の発行年）．翻訳書の書名．引用頁，出版社名，発行地．

例）Fry,A.A.（2008）．Nursing Concepts of practice, 6th ed. ／聖隷花子, 聖隷太郎訳（2010）．

Presented by Medical*Online

看護実践の概念　第 4 版．pp.35-45，日本看護〇△出版会，東京．

＊オンライン上でのみしか閲覧できない資料の場合は、上記の指示に加えて

a．DOI がある場合は、doi : を末尾につける

例）Fry,A.A., & Sky, B.B.（2013）．Nursing Concepts of practice. Nursing Science，3(1), 1-10. https://doi.org/10.7600/jspfsm.69.122.

b．DOI がない場合は、URL,（検索日）．を末尾につける

例）厚生労働省（2013）．健康づくりのための身体活動基準 2013　概要版．https://www.mhlw.go.jp/stf/houdou/2r98522xple.pdf,（検索日：2022 年 10 月 10 日）．

Ⅷ．投稿原稿の受付

1．原稿提出の締切日は、紀要委員会が適宜定めて公表する。

2．締切日までに提出された原稿は､原則として当該年度の号に掲載するための審査対象とする。

Ⅸ．投稿原稿の採否

1．投稿原稿の採否は、紀要委員会が選定する査読委員 2 名による査読を経て、紀要委員会が決定する。ただし､「その他」については、紀要委員会が採否を決定する場合がある。

2．査読は原則 2 回までとする。

3．投稿された原稿が投稿規定に沿っていない場合には、紀要委員会から修正を求めることがある。

4．査読及び修正･補筆の進行状況によっては、論文としての掲載が次号以降になることがある。

Ⅹ．著者校正

著者校正は初校のみを基本とする。なお、初校は誤字・脱字の訂正にとどめ、新規の加筆や大幅な修正を認めない。

Ⅺ．著作物の複製権および公衆送信権

本誌に掲載された論文に関する著作物の複製権および公衆送信権（機関リポジトリへの登録など）は、聖隷クリストファー大学に帰属する。帰属の時期は原則として、最終稿が提出された時点とする。ただし、著作者自身がこれらの権利を行使することを妨げない。

Ⅻ．著者が負担すべき費用

1．別刷は著者負担とする。

2．図表など、印刷上特別な費用を必要とした場合は著者負担とする。

2025 年 3 月 18 日 改訂

Presented by Medical*Online